



2026年3月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH 東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

総取扱量が13か月ぶりのマイナス

概要

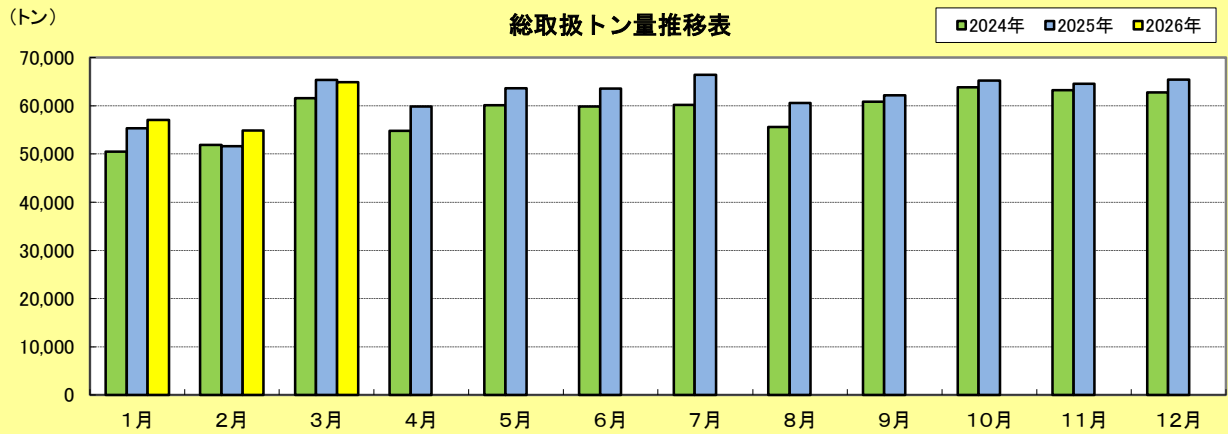
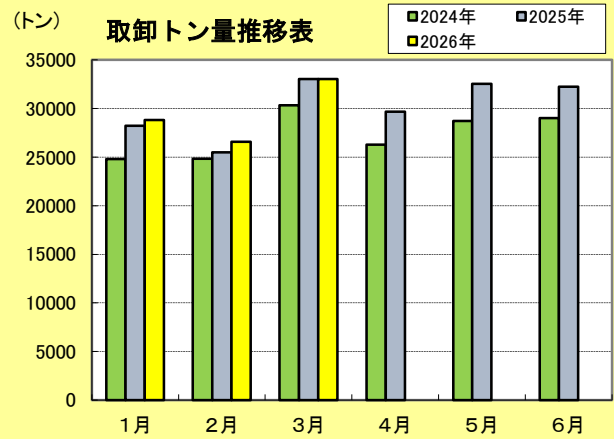
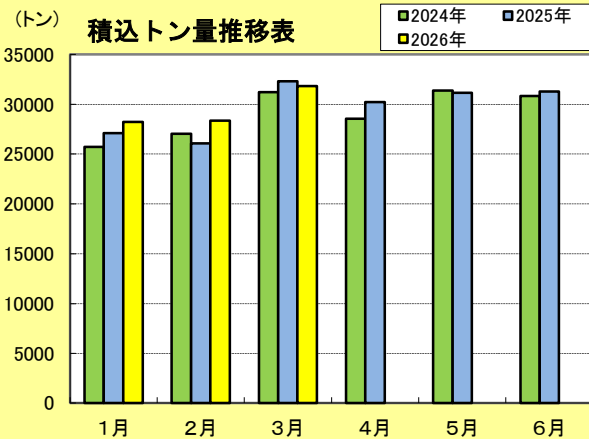
2026年3月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 64,839トン(対前年同月比 0.7%減)

積込量 31,809トン(同 1.5%減)

取卸量 33,030トン(同 0.01%増)

となり、対前年同月比で見ると、総取扱量は13か月ぶりのマイナス、積込量は10か月ぶりのマイナス、取卸量は40か月連続でプラスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田通関 2,531トン（対前年同月比 26.9%増、シェア 16.8%）

その他地域通関 12,574トン（同 ±0.0%、同 83.2%）

となり、対前年同月比で見ると、羽田通関は19ヵ月連続でプラスであり過去最大、その他地域通関は増減なしとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田通関 10,423トン（対前年同月比 0.6%減、シェア 57.1%）

その他地域通関 7,822トン（同 2.1%減、同 42.9%）

となり、対前年同月比で見ると、羽田通関は4ヵ月ぶりのマイナス、その他地域通関は3ヵ月連続でマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 16,704トン（対前年同月比 5.8%減）

取卸量 14,785トン（同 1.6%増）

となり、対前年同月比で見ると、積込量は5ヵ月ぶりのマイナス、取卸量は12ヵ月連続でプラスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2026年3月の羽田空港で輸入された貨物（羽田通関分）を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 1,272トン（対前年同月比 13.8%減、シェア 12.2%）

ドライ貨物 9,151トン（同 1.6%増、同 87.8%）

となった。

生鮮貨物の内訳は、果物34.1%（対前年同月比0.2%増）、水産物30.9%（同4.8%増）、野菜等14.7%（同46.9%減）、植物（切花等）9.8%（同32.3%減）等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2026年3月			2025年3月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	10,423	99.4%	100.0%	10,481	116.5%	100.0%
生鮮	1,272	86.2%	12.2%	1,476	91.1%	14.1%
ドライ	9,151	101.6%	87.8%	9,005	122.1%	85.9%